

せったん

第 199 号 2025 年 4 月 15 日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
● 行 神戸フコク生命海岸通ビル 5 階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



会員意見実態調査

保険証の新規発行停止「反対」67%

協会が昨年 10～11 月に実施した 2024 年度会員意見実態調査結果で、(2024 年) 12 月の従来の健康保険証の新規発行停止について、「反対」が 66・8%、「分からない・その他」が 14・1%、「賛成」が 11・4%と、反対が圧倒的に多く、医療機関でのトラブルが続くなか、政府が保険証廃止を強行することへの反発が強いことが読み取れます。

同調査は、1988 年より 2 年に一度、会員の意見を広く把握し、協会活動に生かすために、診療報酬改定の影響、医療・社会保障から政治・経済など、情勢に応じた質問で調査。兵庫保険医新聞 3 月 25 号から結果をシリーズで紹介しています。

従来の健康保険証を使い続けられるようにしてください請願署名

新たな署名にご協力ください

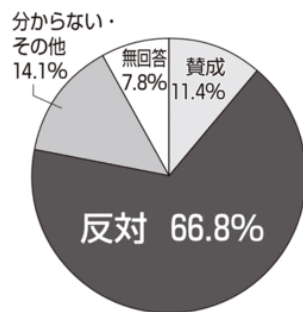
これからもう一つ
保険証で受診できるように。
ぜひ、署名にご協力ください。

あなたの署名が
力になります。
お知り合いにも広げて
ください。

Web署名はこちらから



図 2024 年 12 月の現行健康保険証の新規発行停止について



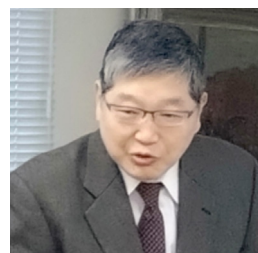
すべての国民に、保険者の責任で漏れや遅れなく自動で健康保険証が届く体制は、いつでも、どこでも、だれでも安心して医療が受けられる国民皆保険制度の根幹です。

慣れ親しんだ従来の健康保険証がこれからも利用できるように、署名活動にご協力をお願いします。



丹波医療センターの竹内先生(右端)を講師とし、質疑応答も活発に交わされた

初めて会員懇談会に参加させてもらいました。地元開催であり、いつも大変お世話になっております丹波医療センターの竹内先生の講演でもあり、楽しみにしておりました。まず先立って行われた歯科新点数ワンポイント解説も、30分という短い時間ではありましたが、要点を凝縮された内容であり、もう一度再確認する良い機会



算定のポイントをていねいに解説する水野良司理事

【丹波市・松下 敏司】
後の質疑応答もアットホームな雰囲気なのでたくさん質問させてもらいました。丁寧にご回答をいただき感謝しております。また次の機会にも是非とも参加させてもらいたいと思いますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

感想文

すぐに取り入れられる 実践的な内容ばかり

北摂・丹波支部と歯科部会は 1 月 26 日、柏原自治会館で歯科「診断力」スキルアップセミナー in 丹波「小手術を安全に行うための口腔解剖と糖尿病など全身疾患と歯科治療の留意点」を開催。県立丹波医療センター歯科口腔外科部長の竹内純一郎先生を講師に、11 人が参加した。松下敏司先生の感想を紹介する。



判断に迷ったら早めに病院に紹介を、と語る竹内純一郎先生

会をいただきました。口腔機能低下症などに対する取り組みはなかなか厄介なところもありますが、特に糖尿病など医科歯科連携は重要であり、また積極的に連携をとることにより加算点数を算定しながらより有効な治療をおこなえるので明日からすぐに取り入れたいと思います。竹内先生のご講演は、すぐに取り入れられる実践的な内容ばかりでした。糖尿病患者さんに対する術前・術中・術後の全身状態

態で注意すること、投薬の勘所など大変参考になりました。



兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部主催 市民公開企画

参加費無料

「マイクロプラスチックと私たちの健康」 講演会 & 映画上映会

ペットボトルやレジ袋など、いたるところに使われているプラスチック。そのプラスチックによる海洋汚染や生態系への影響がいま深刻な問題になっています。その影響は人間にも及び、私たちの健康を脅かしています。

講演会では、マイクロプラスチックなど有機汚染物質について研究されている東京農工大学の高田秀重教授に、今世界でおこっていることが私たちの健康にどのような影響を与えるか、私たちに何が出来るのかをお話いただきます。講演の前には、海洋プラスチック問題の実態を告発するドキュメンタリー映画「プラスチックの海」を上映します。ぜひご参加ください。



日時 **4月20日(日)** 午前10時30分～12時30分 (開場10時15分)
会場 キッピーモール6F 多目的ホール (JR三田駅前) + 講演会のみ オンライン配信
参加費 無料 後援 三田市・三田市教育委員会



映画上映 (10:40～11:05)

「プラスチックの海」(短縮版22分・日本語吹替)

海がプラスチックで溢れている。わたしたちには何が出来るのだろうか。世界 70 カ国以上、1200 回以上の上映。17 カ国語に翻訳され、短縮版が国連本部でプレミア上映された話題作。

講演会 (11:15～12:30) ※オンライン配信あり

「マイクロプラスチックと私たちの健康」

講師 東京農工大学教授 高田 秀重 先生

【Zoom視聴申込】

現地講演会をオンライン配信します。「Zoom」でのご視聴は
右記URLまたはORコードからお申込ください。



<https://x.gd/5XUn>

【来場参加申込】 (切り取らずに返信してください) **FAX 返信 078-393-1802**

参加 [] 人
地区 [] 医療機関・団体名 []
お名前 [] 氏名 []

当日参加も可能です。ぜひご参加ください！患者さんにもオススメください



算定要件のポイントをわかりやすく紹介

講師の先生の気さくな雰囲気とわかりやすい説明で楽しく参加させていただきました。
私は診療所に勤務して20年になりますが、普段からよく算定している管理料などでも併算ができるか、またレセプトのコメントがどこまで必要かなど迷うことがたびたびあります。
今回の懇談会では今まで分かりにくかった要件のポイントが挙げられていて分かりやすく、すぐに役立てられるなあと思えました。
最近では、生活習慣病で通院している患者さんがコロナやインフルエンザの疑いで来院され検査をした場合など、出来高で計算する

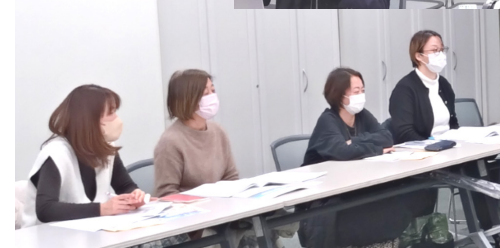
のかどうかなどで迷うことがあります。このような場合について、懇談会に出席されていた先生のお話がとても勉強になりました。先生のお話では月毎に診察に来てもらうことなど、普段よりきちんと説明をされていて、患者さんもそれに慣れておられること、また一定の金額になっていることで安心しておられるというお話でした。
患者さんからの信頼を得ることで、患者さんにとっては分かりにくい算定方法も納得してもらえるのだなと感じました。このためには普段から算定の要件を正しく理解し、わかりやすく説明できるようにしたいと思いました。
また、審査においてはAIによる振り分けの対策として単純な間違いを防ぐことが大切だと痛感しました。そのためレセコンで頻回に使用するコメントの登

録や、自動入力などの機能をセットしておき、単純な入力漏れなどを防ぐように普段から整備しておく必要があると思いました。
また、減点された場合も再審査請求した3割のレセプトが復活すると聞いて驚きました。講師の先生もすすめておられましたので積極的に再審査請求をしてみようと思いました。
ありがとうございました。

【三田市・前橋内科循環器科医院・職員辻尾 麻里】

医科会員懇談会 感想文 積極的に再審査請求を してみよう

北摂・丹波支部は2月1日、三田市・キッピーモール講座で医科会員懇談会「保険請求の留意点と審査の現状」を開催。宮武博明副理事長と協会事務局を講師に14人が参加した。参加した前橋内科循環器科医院職員の辻尾麻里氏の感想を紹介する。



参加者から熱心な質問が出された

支払基金
の審査の
実態を説
明する宮
武副理
長 (上左)